

令和4年度 自衛消防隊研修会の開催

〔開催日〕 令和4年9月9日（金） 9：10～16：30

〔場 所〕 茨城県立消防学校 屋内訓練場（体育館）、屋外訓練場（校庭）

〔講 師〕 4消防本部 8名

（那珂市消防本部、大洗町消防本部、鹿行広域事務組合消防本部、
ひたちなか・東海広域事務組合消防本部）

〔指導員〕 4事業所 5名

（日本原子力研究開発機構原子力科学研究所、日本原子力研究開発
機構核燃料サイクル工学研究所、日本原子力研究開発機構大洗研
究所、日本原子力発電株式会社東海発電所・東海第二発電所）

〔参加者〕 協定加盟10事業所から17名参加

〔訓練概要〕

（1）座学

① 自衛消防に関する事項（消防概論）

（2）要素訓練

① 空気呼吸器等の装着訓練

② 屋内消火栓の取扱要領（ホース延長・収納等の操作）

③ 消防自動車からの放水・吸水訓練

（3）総合訓練

指揮隊（含支援隊）、消火隊、救助隊に分かれて、実放水を含む消火救出
訓練を実施

（想定：平屋建て事務所より出火、延焼拡大中。職員2名逃げ遅れ。）

令和4年度原子力事業所安全協力協定自衛消防隊研修会を、実技を伴う訓練として3年ぶりに、茨城県立消防学校で開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は中止（座学テキストでの自己研鑽）、令和3年度はオンライン開催であった。

今年度で14回目となる本研修会は、参加者を自衛消防隊の初心者を中心に募集した。

午前中は、主催者である安全協力委員会委員長の開会挨拶に続き、体育館で座学（自衛消防に関する事項（消防概論）、体育館及び校庭で要素訓練（① 空気呼吸器等の装着訓練、② 屋内消火栓の取扱要領（ホース延長・収納等の操作）、③ 消防車からの放水・吸水訓練）を行った。

午後は、校庭で総合訓練を行った。参加者は、講師の運転する消防関係車両5台に分乗し、校庭を一周して火災現場に到着した。指揮隊の下命を受けて、消火隊による放水、救助隊による建物内からの逃げ遅れ者（人形）の救助など、実際の火災現場に近い形での訓練を行った。

閉会式では、「茨城県防災・危機管理部原子力安全対策課原子力防災調整監」及び「原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所副所長」からご講評をいただいた。

読売新聞社及び茨城新聞社の記者が取材に来られ、9月10日の両新聞に記事が掲載された。



(開会式)



(座学)



(空気呼吸器装着訓練)



(屋内消火栓取扱訓練)



(消防車からの放水訓練)



(総合訓練 出動)



(総合訓練 指揮隊)



(総合訓練 消火隊)



(総合訓練 救助隊)